

2022 年度事業計画書

一般社団法人もも

【団体について】

- ・ビジョン：生まれ育つ環境に左右されず自分の未来に希望が持てる社会
- ・ミッション：子ども若者が安心して力を発揮できる地域のプラットフォームをつくる
- ・活動の方向性：地域住民・企業・大学などと協働し、活動に参画していただく。子ども若者が経済的なハードルを越えて地域資源を最大限有効活用できる状態を目指す。

【事業の目的】

不登校や不登校経験者など生きづらさを抱える子ども若者や学校・家庭以外の居場所を必要とする子ども若者に対して、地域で居場所支援・学習支援・暮らし支援・相談支援などを行う中で、自己実現に向けた将来の自立に寄与する。

1. 居場所づくり事業

(ア) 居場所活動

不登校やその傾向のある子ども若者が自由に過ごすことができる居場所を開所

(イ) もものバー

離れを改修したもものバーをひらく。食事支援、居場所支援を通して相談の敷居を下げることを目的とする。

(ウ) 体験活動

子ども若者のニーズをもとにものづくりや遠足などを実施

2. 学習支援事業

(ア) 学習支援教室

子どもとの関係性の構築・5教科のサポートを行う。学習についての相談やサポート、高卒認定や高校受験対策をおこなう。

(イ) 文化芸術ゼミ

自分の好きなことを通して自分のことを言語化し、自らの過去・現在・未来のことを語れることを目指す

(ウ) キャリア教育（ももカレッジ）

子ども若者のニーズをもとに職業講話や職業体験を実施

3. 暮らし支援事業

(ア) 子ども食堂（りこのキッチン）

ひとり親家庭を中心に手作りのお弁当をお渡し（現在はテイクアウトのみ）

(イ) フードパントリー

ひとり親家庭を中心に手作りの食糧品をお渡し

(ウ) 若者向けのフードパントリー

家庭に経済的な不安のある若者や一人暮らしの若者に向けた食糧郵送の実施。お手紙や状況が把握できるようなアンケート記入を実施。

(エ) ショートステイ事業

一時的に休息、食事、必要に応じて相談ができる生活支援・相談支援の場として宿泊機能を持つ。

4. 相談支援事業

(ア) 個別相談支援

子ども若者やそのご家族に対して個別面談をおこなう。対面、電話、オンラインなど。

(イ) 訪問支援、同行支援事業

来所が難しい場合、ご自宅やご自宅の近くまで訪問し面談をおこなう。また、行政や病院への同行をおこなう。

【事業ポートフォリオ】

事業名	事業名	予定日時	予定場所	従事者数	受益者対象者/ 実人数
居場所支援	居場所活動	毎週金曜 14時～16時	もも	2人	小学生から20代 の若者/20人
	もものバー	毎週木曜 17時～20時	もものバー	2人	中学生から20代 の若者 20人
	体験活動	年 3～4回	もも その他	講師 2人	中学生から20代 の若者/20人
学習支援事業	学習会	毎週月曜 17時～20時	もも	2人	中学生～高校生 の子ども/15人
	文化芸術ゼミ	月 1回程度	もも	2人	中学生～高校生 の子ども/15人
	キャリア支援	年 3～4回	もも	講師 2人	中学生～高校生 の子ども/15人
暮らし支援事業	子ども食堂	第2・4土曜日	コミセン	20人	ひとり親家庭な どの親子35人前 後
	フードパントリー	第2・4土曜日	コミセン	2人	ひとり親家庭な どの12世帯
	若者向けフ ードパントリー	年間3～4回	郵送	2人	若者4～6人
	ショートステ イ	不定期	もも	2人	若者2～4人
相談支援事業	個別相談	週2～4回	もも 電話	2人	子ども若者とそ の保護者/60人
	訪問支援 同行支援	月4回程度	訪問	2人	若者3～4人